


八潮高校 軟式野球部
～夏の記憶 ベスト8の道～



第64回全国高等学校軟式野球選手権大会・東京地方大会が2019年7月21日から開幕し、各地で熱戦が繰り広げられました。八潮高校は、春都大会44年ぶりのベスト8に進出した結果、シード校として夏の大会を迎えました。初戦の都立立川ろう学校の試合は、終盤まで2点リードされる展開でしたが、8回裏、4番ファーストの杉山君が、値千金の勝ち越しホームランなどで勝ち越して初戦を逆転勝ちで収めました。3回戦以降は、勢いそのまま打線が爆発3本のホームラン、投げてはエース平井君の快投でコールド勝ち、準々決勝に進出しました。進んだ準々決勝は第一シードの駒場東邦高校。試合は中盤まで投手戦でしたが、5回裏に駒場東邦高校が2点を先制され主導権を握られ、守備で粘りを見せたものの終盤に追加点を取られ、0-4で八潮高校は敗北を喫しました。ベスト8で敗退してしまいましたが、3年生が残してくれた功績は大きく、下級生にとって大きな財産となっています。

新チームは秋ブロック予選の初戦で敗北しましたが、秋の悔しさをもって冬の練習に取り組んできました。3月から始まる春のブロック予選を突破し、本大会で活躍していきます。今後ともどうぞ応援を宜しくお願い致します。







